フォトパネル 02

ISSUE DATE: '09.12

NAME:

PHONE NUMBER:

MAIL ADDRESS:

取扱説明書

ドコモ W-CDMA方式

このたびは、「フォトパネル 02」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書およびその他のオプション機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、取扱説明書裏面の「ドコモお便りフォトサポートセンター」までお問い合わせください。
フォトパネル 02はお客様の有能なパートナーです。大切にお取り扱いのうえ、末永くご愛用ください。

本体のご使用にあたって

- 本体は無線を使用しているため、地下・建物の中などで電波の届かない所、およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが3本たっている状態で、移動せずに使用している場合でも通信が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所などでは、まわりの方のご迷惑にならないようご使用ください。
- 本体は、FOMAプラスエリアに対応しております。
- 本体のFOMA通信は、ドコモの提供するFOMAネットワーク以外ではご使用になれません。
  The FOMA communication for the FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DOCOMO.
- お客様ご自身で本体に登録された写真やメッセージなどは、SDカードに保存したり、メモを取るなどして保管してくださるようお願いします。本体の故障や修理、その他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- 本書について、最新の情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。
  - 「取扱説明書（PDFファイル）」ダウンロード
    http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html

  ※ URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた／引きかた

本書では、本体を正しくお使いいただくために、操作のしかたをイラストやマークを交えて説明しています。

- 本書に記載している画面やイラストはイメージです。実際の製品とは、異なる場合があります。
- 本書では、画像および画像データを「写真」と表記させていただいております。
- 本書では、「フォトパネル 02」を「本体」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。

機能やサービスの探しかた

本書では、次のような検索方法で、機能やサービスの説明ページを探すことができます。

索引から→P.88

● 機能やサービスの名称から探します。

表紙インデックスから→表紙

● 表紙右端のインデックスを利用して探します。

次ページで詳しく説明しています。

目次から→P.4

● 機能や目的ごとに分類された目次から探します。

メニュー一覧から→P.74

● 本体のメニュー項目から探します。

「索引」「表紙インデックス」からの引きかたを、端末初期化を例として説明します。

索引から→P.88

機能やサービスの名称から、以下のように探します。

表紙インデックスから→表紙

以下のように、「表紙」→「章扉（章の最初のページ）」→「説明ページ」の順に使用したい機能やサービスを探します。

設定の変更

※本文中のページとは内容が異なります。

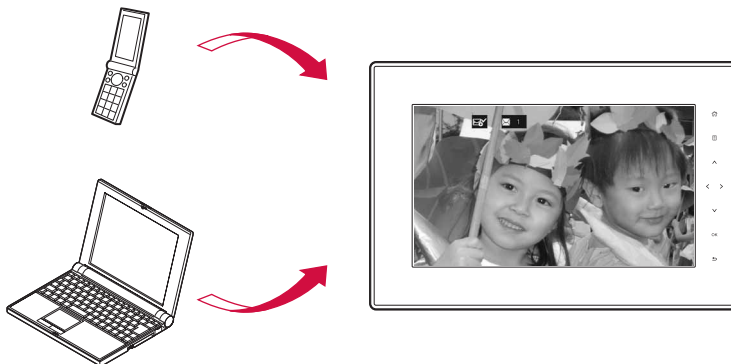
各手順を操作する際のポイントとなる画面を表します。

※本文中のページとは内容が異なります。

目次

フォトパネル 02の主な機能

携帯電話やパソコンから送られてきた写真やメッセージをかんたんに表示できます。

受け取った写真を確認する　→P.26

写真と一緒に時計（アナログ／デジタル）またはカレンダーを表示できます。

ディスプレイのレイアウトを変更する　→P.44

写真を自動的に切り替えて表示します。

スライドショーを一時停止／再開する
→P.28

SDカードに保存されている写真を表示できます。

SDカード内写真を表示する　→P.52

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
■ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
■次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。

指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は、下記の項目に分けて説明しています。

1.本体、ACアダプタ、FOMAカードの取り扱いについて（共通）

⚠危険

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、保管、放置しないでください。

機器の変形、故障の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

分解、改造をしないでください。また、ハンダ付けしないでください。

火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。

濡らさないでください。

水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。

本体に使用するACアダプタは、NTTドコモが指定したものを使用してください。

指定品以外のものを使用した場合は、本体やその他の機器を発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。

⚠警告

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、本体、ACアダプタやFOMAカードを入れないでください。

本体やACアダプタの発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

機器の故障、火災の原因となります。

接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。

ショートによる火災や故障の原因となります。

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本体の電源をお切りください。ガスに引火する恐れがあります。

使用中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

1. 電源プラグをコンセントから抜く。

2. 本体の電源を切る。

そのまま使用すると発熱、破裂、発火の原因となります。

⚠注意

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落下して、けがや故障の原因となります。

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。

故障の原因となります。

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。

けがなどの原因となります。

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

2.本体の取り扱いについて

⚠警告

本体やメモリカードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

火災、感電、故障の原因となります。

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本体の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

屋外で使用中に、雷が鳴り出したら、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。

落雷、感電の原因となります。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本体の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

※ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

万が一、ディスプレイ部を破損した際には、割れたガラスや露出した本体の内部にご注意ください。

誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

⚠注意

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけたりしないでください。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
下記の箇所に金属を使用しています。

使用箇所	素材	表面処理
メモリカードスロット（端子部分）	銅合金	金メッキ
FOMAカードスロット（端子部分）		−
接続端子		
スタンド	PC+ABS	塗装

3.ACアダプタの取り扱いについて

⚠警告

ACアダプタの電源コードが傷んだら使用しないでください。

感電、発熱、火災の原因となります。

ACアダプタは風呂場などの湿気の多い場所では、使用しないでください。

感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、本体、ACアダプタには触れないでください。

落雷、感電の原因となります。

コンセントにつながれた状態でコネクタの端子をショートさせないでください。また、コネクタの端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

火災、故障、感電、傷害の原因となります。

ACアダプタを安定した場所に置いてください。また、ACアダプタを布や布団で覆ったり、包んだりしないでください。

本体が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。

ACアダプタの電源コードの上に重いものをのせたりしないでください。

感電、火災の原因となります。

濡れた手でACアダプタのコード、コンセントに触れないでください。

感電の原因となります。

指定の電源、電圧で使用してください。

誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。
ACアダプタ：AC100V-240V

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

火災の原因となります。

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。

感電、ショート、火災の原因となります。

ACアダプタをコンセントから抜く場合は、ACアダプタの電源コードを無理に引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。

コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

感電、火災、故障の原因となります。

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントから電源プラグを抜いてください。

感電、発煙、火災の原因となります。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

感電の原因となります。

4.FOMAカードの取り扱いについて

⚠注意

FOMAカード（IC部分）を取り外す際は切断面にご注意ください。

手や指を傷つける可能性があります。

5.医用電気機器近くでの取り扱いについて

■ 本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

⚠警告

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には本体を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本体の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、本体の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

指示

混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本体の電源を切るようにしてください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部から本体は22cm以上離して使用してください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

取り扱い上のご注意

共通のお願い

●**水をかけないでください。**
本体、ACアダプタ、FOMAカードは防水仕様にはなっておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。

●**お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
・お手入れの際に、乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。取り扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。また、ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになったり、コーティングがはがれることがあります。
・アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

●**エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

●**本体などに無理な力がかからないように使用してください。**
多くのものが詰まった荷物の中に入れたりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。

●**本体、ACアダプタに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**

●**ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
傷つくことがあり故障、破損の原因となります。

本体についてのお願い

●**タッチボタンの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作しないでください。**
タッチボタンが破損する原因となります。

●**極端な高温、低温は避けてください。**
温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。

●**一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**

●**お客様ご自身で本体に登録された写真やメッセージなどは、SDカードに保存したり、メモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

●**本体を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
故障、破損の原因となります。

●**使用中、本体は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**

●**通常は FOMA カードスロットのキャップをはめた状態でご使用ください。**
ほこり、水などが入り故障の原因となります。

●**SDカードの使用中は、SDカードを取り外したり、本体の電源を切ったりしないでください。**
データの消失、故障の原因となります。

●**本体に磁気を帯びたものを近づけないでください。**
強い磁気を近づけると誤作動を引き起こす可能性があります。

ACアダプタについてのお願い

- **抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。**
- **強い衝撃を与えないでください。また、接続端子を変形させないでください。**
  故障の原因となります。

FOMAカードについてのお願い

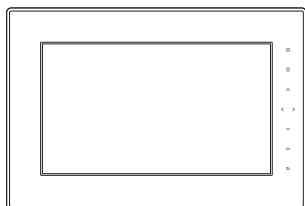
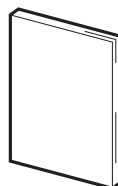
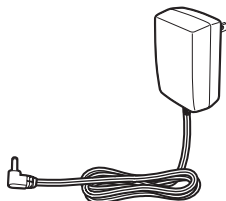
- **FOMAカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。**
- **使用中、FOMAカードが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **他のICカードリーダー／ライターなどにFOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。**
- **IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。**
- **お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
- **お客様ご自身でFOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
  万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **環境保全のため、不要になったFOMAカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。**
- **極端な高温・低温は避けてください。**
- **ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。**
  データの消失、故障の原因となります。
- **FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  故障の原因となります。
- **FOMAカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。**
  故障の原因となります。
- **FOMAカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本体に取り付けないでください。**
  故障の原因となります。

注意

- **改造された本体は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。**
  本体は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等を受けており、その証として「技適マーク㊢」が本体の銘版シールに表示されております。本体のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明等が無効となります。技術基準適合証明等が無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

本体付属品および主なオプション品

■ 本体付属品

フォトパネル 02
（保証書含む）

取扱説明書
（本書）

フォトパネルACアダプタ 02
（保証書含む）

■ 試供品

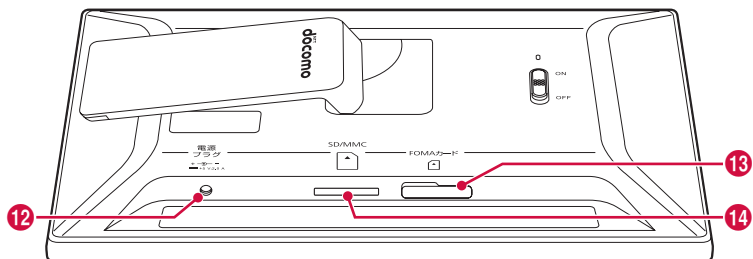
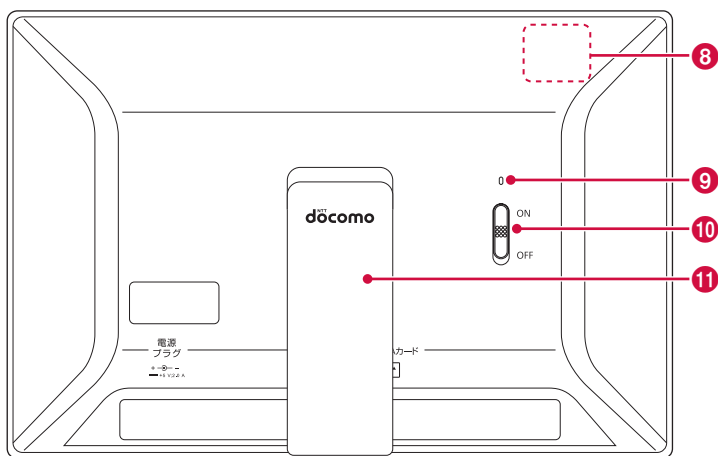
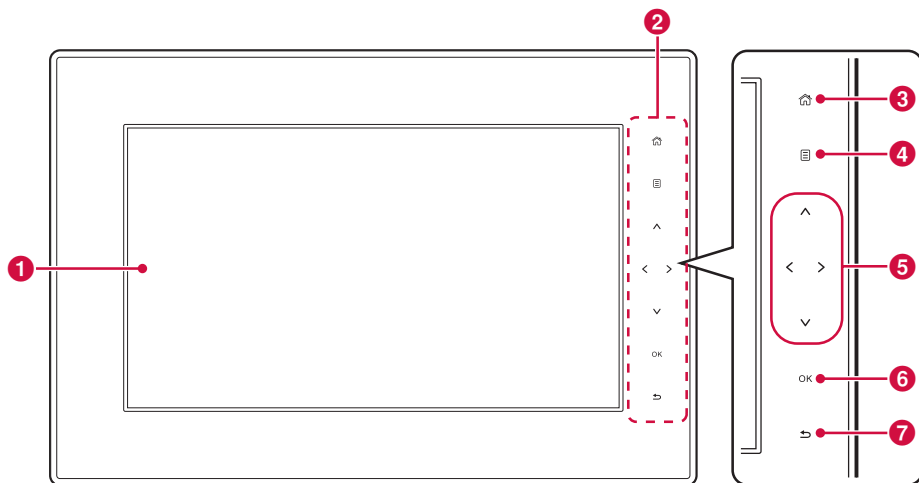
SDカード（2Gバイト）
（取扱説明書付き）

ご使用前の確認

各部の名称と機能

OK
1
2
3
4
5
6
7

docomo
ON
OFF
電源
プラグ
8
9
10
11

docomo
ON
OFF
電源
プラグ
SD/MMC
FOMAカード
12
13
14

① ディスプレイ

※ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られておりますが、ごくまれに点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。故障ではありませんのであらかじめご了承ください。

② タッチボタン部分

- 指で触れて（タッチ）操作します。→P.17

※タッチボタン消灯時は、いずれかのボタンにタッチすると、点灯して操作できる状態になります。

③ ホームボタン

- ホームメニューを表示します。→P.16

④ メニューボタン

- 機能メニューを表示します。→P.17

⑤ 方向ボタン

∧/∨（上下ボタン）

- 受信したメッセージが表示しきれないときに、表示をスクロールします。→P.26
- 一覧画面の写真の選択枠を上下方向に移動します。→P.36
- メニューなどの選択項目を上下方向に移動します。

＜/＞（左右ボタン）

- スライドショー表示中に前後の写真を表示します。→P.29
- 一覧画面の写真の選択枠を左右方向に移動します。→P.36
- 本体設定メニューの選択項目などを左右方向に移動します。

⑥ OK OKボタン

- メニュー項目など、選択項目を決定します。

⑦ 戻るボタン

- メニューなどの表示を1段階前に戻します。

※ 変更済みの設定を変更前の状態に戻すことはできません。

⑧ 内蔵アンテナ

- アンテナが内蔵されています。より良い条件で電波を受信するために、この部分を覆わないようにしてお使いください。

⑨ 電源ランプ

- 電源が入っているときに点灯します。

⑩ 電源スイッチ

- 電源を入れたり、切ったりします。→P.21

⑪ スタンド→P.20

⑫ 接続端子

- 付属のACアダプタを接続します。→P.21

⑬ FOMAカードスロット

- FOMAカードを取り付けます。→P.18

⑭ メモリカードスロット

- SDカード／SDHCカードなどを取り付けます。→P.51

メニューの選択方法

ホームメニューから機能を選択する

写真を見たり、各種設定などを行ったりするときには、ホームメニューを表示させ、項目を選択します。

1 [ホーム] をタッチする

ホームメニューが表示されます。

2 [<] / [>] をタッチしてメニュー項目を選び OK をタッチする

- ホームメニューから選択できるメニュー項目や機能については、「メニュー一覧」をご覧ください。→P.74

お知らせ

- データのバックアップ中や復元中など、本体の動作状況によってはホームメニューが表示できない場合があります。
- ホームメニューの表示後、約30秒本体を操作しなかった場合は、自動的にスライドショー(P.22)が表示されます。

機能メニューから機能を選択する

スライドショー表示中や写真の一覧画面などで機能を呼び出す場合は、機能メニューを表示させ、項目を選択します。

1 機能を呼び出したい画面で 目 をタッチする

機能メニューが表示されます。

- 使用中の機能および条件によっては、機能メニューが表示されません。

2 ∧/∨ をタッチして項目を選び OK をタッチする

選択した機能が起動します。

- 項目を選ばずに機能メニューを閉じる場合は、目 または ⮌ をタッチします。

タッチボタンの操作の表記について

本書では、タッチボタンの操作を、次の赤枠内のようにボタンを示すマークを使って表記しています。

〈例〉スライドショー表示中に本体設定画面を表示させる操作の場合

1 スライドショー表示中に 目 をタッチする

2 ∧/∨ をタッチして「本体設定」を選び OK をタッチする

■ ∧/∨ をタッチしてメニュー項目などを選んで OK をタッチする操作を続けて行うときは、次のように表記します。

3 ∧/∨ と OK で「スライドショーの設定」→「再生順」→「ランダム」を順に選択する

● タッチボタン利用上のご注意

タッチボタンは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先が尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けないでください。

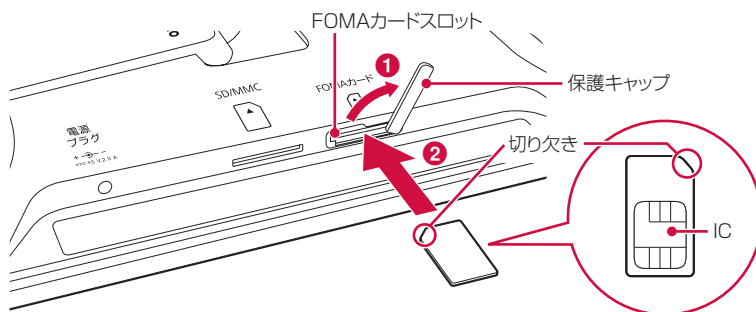
次の場合はタッチボタンに触れても動作しないことがあります。
また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
- 手袋をしたままでの操作
- 爪の先での操作
- 異物を操作面に乗せたままでの操作
- 保護シートやシールなどを貼っての操作

FOMAカードを使う

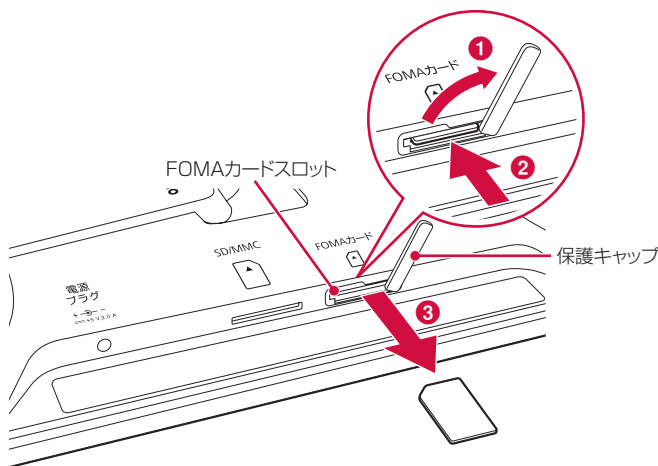
FOMAカードは、お客様の電話番号などの情報が記録されているICカードです。FOMAカードが取り付けられていないと、本体で写真やメッセージを受け取ることができません。
- FOMAカード（青色）は使用できません。
- 本体でお便りフォトサービスをご利用になるには、専用の料金プランのご契約が必要になります。
- FOMAカードの詳しい取り扱いについては、FOMAカードの取扱説明書をご覧ください。

FOMAカードの取り付けかた／取り外しかた

FOMAカードは電源を切ってから取り付け／取り外ししてください。→P.21、22
- FOMAカードのIC部分に触れたり、傷をつけたりしないでください。

■ 取り付けかた

1 FOMAカードスロットの保護キャップを上図の❶の方向に開き、FOMAカードのIC部分を下にして、❷の方向にゆっくりとスロットの奥まで差し込む

2 FOMAカードスロットの保護キャップを閉じる

■取り外しかた

1 FOMAカードスロットの保護キャップを上図の❶の方向に開き、FOMAカードを❷の方向にスロットの奥まで押し込んでから離す

押し込むとFOMAカードが少し出てきます。

2 FOMAカードを上図の❸の方向へまっすぐ抜き取る

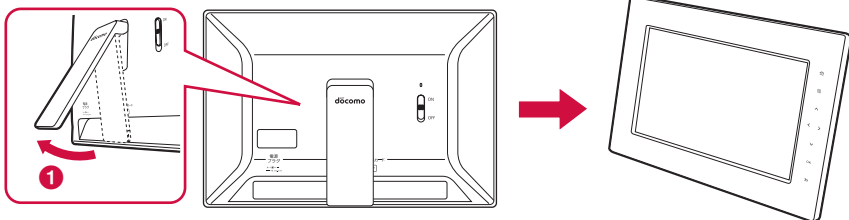
3 FOMAカードスロットの保護キャップを閉じる

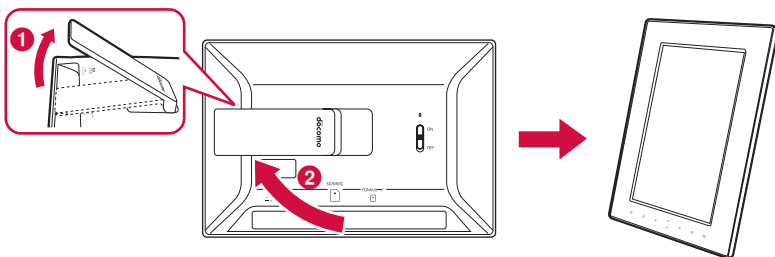
フォトパネルを設置する

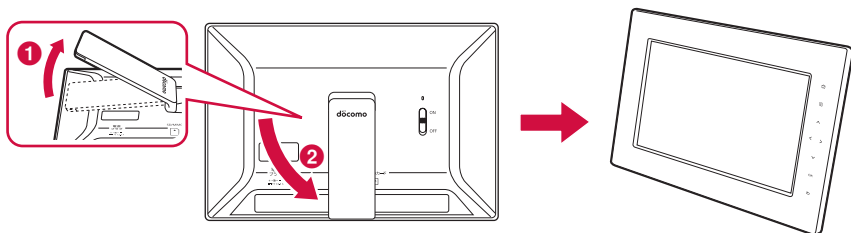
スタンドの引き出しかたを変えて、本体を横向き、または縦向きに置くことができます。

- 本体の設置の向きに応じて、写真の表示方向も自動的に縦／横に切り替わります。

横向きに置く場合

スタンドを下図のように❶の方向に起こして、本体を横向きに置きます。

縦向きに置く場合

スタンドを下図のように❶の方向に起こして、❷の方向に止まるまで回転させ、本体を縦向きに置きます。

■ 縦向きに置かれている本体を横向きに置く場合

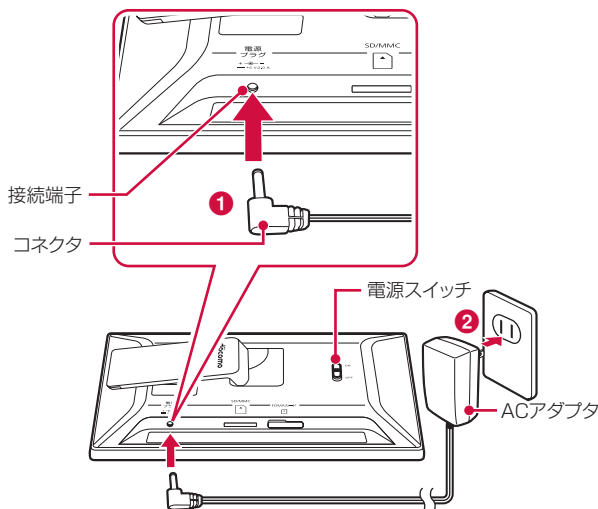
スタンドを下図のように❶の方向に起こして、❷の方向に止まるまで回転させ、本体を横向きに置きます。

お知らせ

- スタンドは、P.20の図の方向以外に回転させないでください。故障の原因となります。
- スタンドは、しっかり起こしてから、必ず止まる位置まで確実に回転させてご使用ください。起こしかたや回転のさせかたが不十分な場合は、本体が倒れる場合があります。
- フォトパネルを設置する際は、しっかりと固定させてください。

電源を入れる／切る

ACアダプタを接続する

本体の電源を入れるには、まずACアダプタを接続します。

- ACアダプタは、AC100Vから240Vまで対応しています。

1 付属のACアダプタのコネクタを本体底面の接続端子に差し込む（❶）

- AC アダプタのコネクタを抜き差しするときは、無理な力がかからないようにゆっくり確実に行ってください。取り外すときは、水平に引き抜いてください。無理に引き抜こうとすると、故障の原因となります。

2 ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む（❷）

お知らせ

- 使用中に本体やACアダプタが温かくなる場合がありますが、異常ではありません。

電源を入れる

1 背面の電源スイッチを「ON」の位置にスライドさせる

電源が入ると起動画面に続いて、本体に保存されている画像が受け取った日時の新しいものから順に自動的に切り替わって表示されます（スライドショー）。

- お買い上げ時、電源が入ると、起動画面に続いて本体をお使いになるための準備をご案内する画像が表示されます。画像は、写真やメッセージを受け取ったり、SDカードから本体に写真を保存したりすると表示されなくなります。

お知らせ

- お買い上げ時、初めて電源を入れた後、自動的にお便りフォトサービスの登録に必要なサービス登録番号が送られてきます。お便りフォトサービスについて詳しくは、別冊の「ご利用ガイドブック」をご覧ください。

電源を切る

1 背面の電源スイッチを「OFF」の位置にスライドさせる

終了画面が表示され、電源が切れます。

- 本体をしばらく使用しない場合は、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。

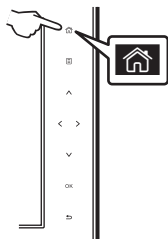
お知らせ

- 写真の受け取り中など、通信中に電源スイッチを「OFF」にすると、写真や情報の受け取りに失敗する場合がありますので、ご注意ください。

電波の受信レベルを確認する

電波の受信レベルを確認するには、ホームメニューを表示させます。

1 をタッチする

ホームメニューの右上に電波の受信レベルを示すマークが表示されます。

- が表示されているときは、電波を受信できないため、写真を受け取ることができません。本体を が表示されない場所に設置してください。
- 電波の受信レベルが （強）の場合でも、電波の受信状況などの条件によっては、写真を受け取れないことがあります。

お知らせ

- 本体設定画面で電波の受信レベルを確認することもできます。→P.24

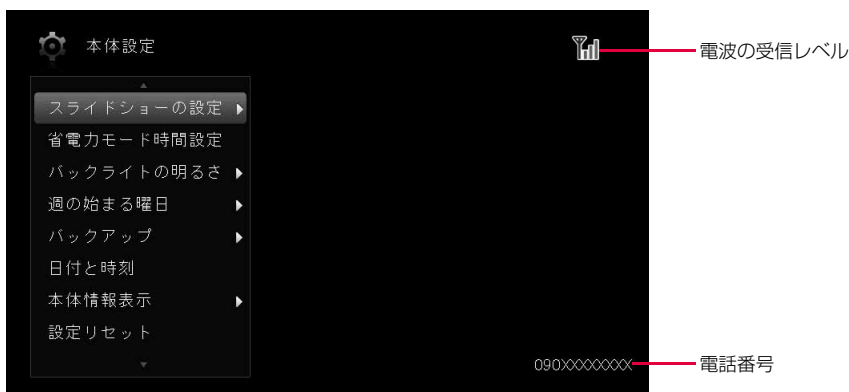
自分の電話番号を確認する

FOMAカードに登録されている本体の電話番号を確認するには、本体設定画面を表示させせます。

1 🏠 をタッチする

ホームメニューが表示されます。

2 < / > をタッチして「本体設定」を選び OK をタッチする

FOMAカードに登録されている電話番号が表示されます。

3 🏠 をタッチする

ホームメニューが表示され、約30秒経過すると自動的にスライドショーが表示されます。

- 写真を選んで、すぐにスライドショーを表示させることもできます。→P.35、P.52

お知らせ

- FOMAカードを取り付けていない場合は、FOMAカードが挿入されていない旨のメッセージが表示されます。電源を切り、FOMAカードを取り付けてから電源を入れ直してください。→P.18、P.21

基本の操作

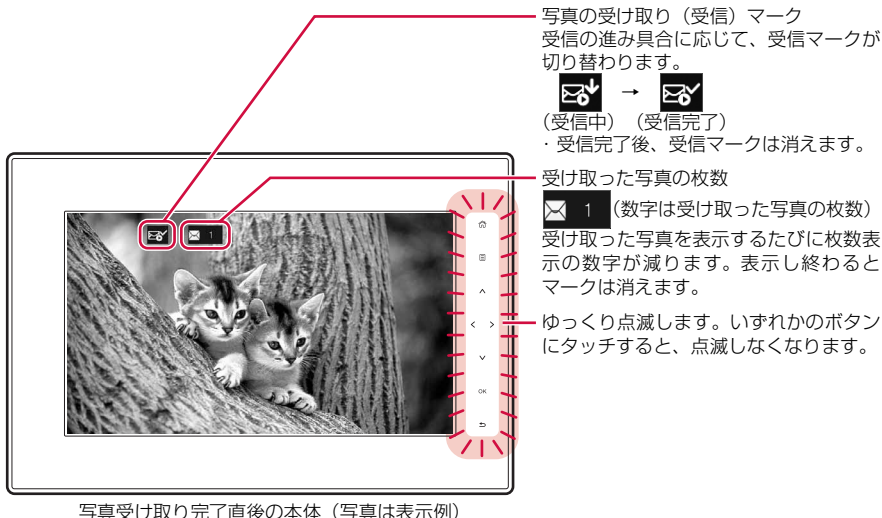
受け取った写真を確認する

写真を受け取ると、本体前面のタッチボタンがゆっくりと点滅し、以下のようなマークが表示されます。

写真の受け取り（受信）マーク
受信の進み具合に応じて、受信マークが切り替わります。
（受信中） → （受信完了）
・受信完了後、受信マークは消えます。

受け取った写真の枚数
1（数字は受け取った写真の枚数）
受け取った写真を表示するたびに枚数表示の数字が減ります。表示し終わるとマークは消えます。

ゆっくり点滅します。いずれかのボタンにタッチすると、点滅しなくなります。

写真受け取り完了直後の本体（写真は表示例）

1 写真を受け取ったら、いずれかのボタン（ホーム/メニュー/∧/∨/＜/＞/OK/戻る）をタッチする

新たに受け取った写真が表示されます。

- 2枚以上の写真を受け取ったときは、さらにボタンをタッチするか約30秒経過するごとに、画面が切り替わります。
- 受け取った写真やメッセージをすべて表示すると、スライドショーに戻ります。

1枚目の写真

メッセージが表示し切れない場合は、自動的にメッセージの続きが表示されます。
・∧/∨をタッチして、メッセージを表示することもできます。

2枚目の写真

※：タイトルとメッセージは、送られてきた写真に設定されている場合に表示されます。

お知らせ

- 新たに受け取った写真は、自動的にスライドショーに追加されます。ただし、配信コンテンツ（P.41）とドコモからのお知らせ（P.42）は追加されません。
- 写真の受け取りに失敗すると、受信マークに が表示されます。受け取りに失敗した写真は、表示／保存できません。本体の電波の受信レベル（P.23）が強いことを確認して、送信者の方に写真の再送信を依頼してください。
- 写真の受け取りの開始時、電波の受信レベルの状況などによっては が表示されることがありますが、写真やメッセージなどの受け取りに影響はありません。
- タイトルは全角15文字／半角30文字まで、メッセージは全角1080文字／半角2160文字まで受け取れます。
- 受け取ったタイトルやメッセージに本体で表示できない文字が含まれている場合は、該当する文字の代わりに「？」や「＝」が表示されることがあります。
- 本体のメモリの空き容量が約5Mバイト未満になると、 が表示されます。
- 新しく写真を受け取ったときに本体のメモリ容量が不足している場合は、自動的に本体に保存されている古い写真を削除して新しい写真を受け取ります。
  ※ SDカードを取り付けており、SDカードの空き容量が約５Mバイト以上の場合は、自動的に古い写真をSDカードへ移動して新しい写真を受け取ります。
- 写真を受け取った後、本体を操作せずに約30分経過すると、タッチボタンの点滅周期が長くなります。
- 写真の受け取り後、写真を表示する前に次の条件が発生するとタッチボタンの点滅が終了します。
  - 管理者によってお便りフォトサイトで送信された写真が削除された場合
  - 省電力モード時間設定によって、ディスプレイが消灯した場合→P.66
- 写真を受け取った後、表示せずに電源を切った場合は、再び電源を入れるとタッチボタンが点滅します。

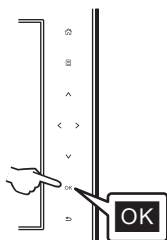
スライドショーを一時停止／再開する

スライドショーでは、一定時間ごとに自動的に写真を切り替えて表示します。1枚の写真をじっくり見たいときは、スライドショーを一時停止させます。

スライドショーを一時停止する

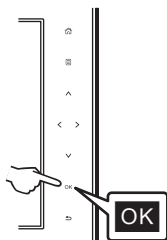
1 スライドショー表示中に OK をタッチする

一時停止マーク（II）が表示され、スライドショーが一時停止します。

- 一時停止マークは、約3秒経過すると表示されなくなります。

スライドショーを再開する

1 スライドショーの一時停止中に OK をタッチする

開始マーク（▶）が表示され、スライドショーが再開します。

- 開始マークは、約3秒経過すると表示されなくなります。

お知らせ

- お買い上げ時、スライドショーの写真表示の切り替え間隔は、約30秒に設定されています。間隔を変更するには、P.64の「写真の切り替え間隔を変更する」をご覧ください。

次の写真／1つ前の写真を表示する

次の写真を表示する

1 スライドショー表示中に ＞ をタッチする

2 スライドショーを再開するには OK をタッチする

1つ前の写真を表示する

1 スライドショー表示中に ＜ をタッチする

2 スライドショーを再開するには OK をタッチする

写真を回転する

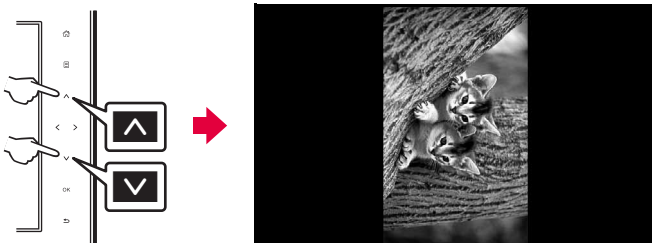
写真を時計回り／反時計回りの方向にそれぞれ90°ずつ回転させて表示できます。横向きに表示される写真を正しい向きに表示させるときなどに便利です。

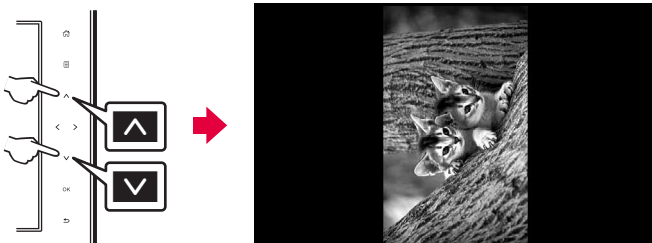
1 スライドショー表示中に ▤ をタッチする

機能メニューが表示されます。

2 次の操作を行う

■ 時計回りに90°回転させる場合

∧/∨をタッチして「右に回転」を選び OK をタッチします。

■ 反時計回りに90°回転させる場合

∧/∨をタッチして「左に回転」を選び OK をタッチします。

3 スライドショーを再開するには OK をタッチする

お知らせ

- 回転させた写真は、表示方向が記録され、次からは回転させた向きでスライドショーで表示されます。ただし、写真一覧画面（P.36）では回転せずに表示されます。

基本の操作

写真を拡大して表示する

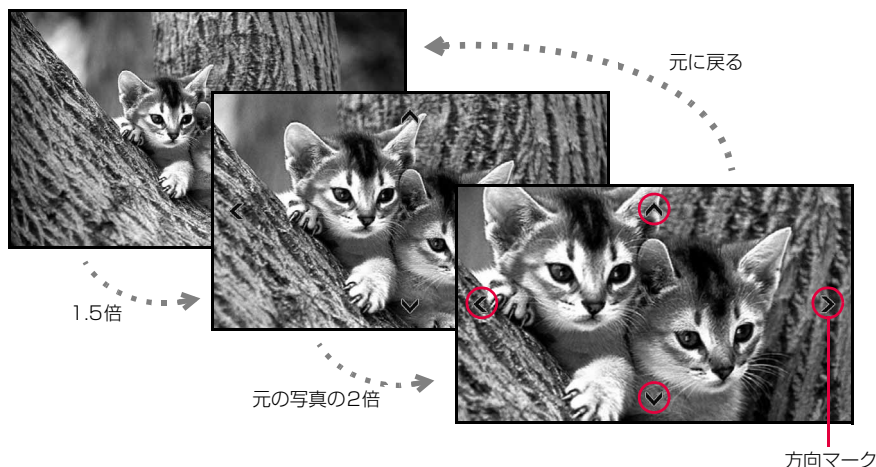
スライドショー表示中の写真を最大約2倍まで拡大表示できます。

1 スライドショー表示中に ☰ をタッチする

機能メニューが表示されます。

2 ∧ / ∨ をタッチして「拡大表示」を選び OK をタッチする

写真が約1.5倍に拡大表示されます。

操作を繰り返すごとに写真の倍率は1.5倍→2倍→等倍（元の倍率）の順に切り替わります。

■ 写真サイズがディスプレイより大きい場合

方向マークが表示されます。∧ / ∨ / ＜ / ＞ をタッチして、写真の表示範囲をマークの方向へ移動できます。

3 スライドショーを再開するには OK をタッチする

お知らせ

- 拡大表示中に OK をタッチすると、等倍（元の倍率）に戻ります。

写真を削除する

不要な写真を削除することができます。削除した写真は、戻すことができませんので、ご注意ください。

1 スライドショー表示中に ▤ をタッチする

機能メニューが表示されます。

2 ∧ / ∨ と OK で「削除」→「はい」を順に選択する

写真を非表示にする

スライドショーで表示させたくない写真を非表示に設定することができます。

1 スライドショー表示中に 目 をタッチする

機能メニューが表示されます。

2 ∧ / ∨ をタッチして「表示しない」を選び OK をタッチする

表示中の写真が非表示に設定されます。

お知らせ

- 非表示に設定した写真は、写真一覧画面で確認できます。→P.36
- 非表示に設定した写真を、再びスライドショーで表示させるためには、写真一覧画面の機能メニューから「表示する」を選択してください。→P.75

お気に入りに登録する

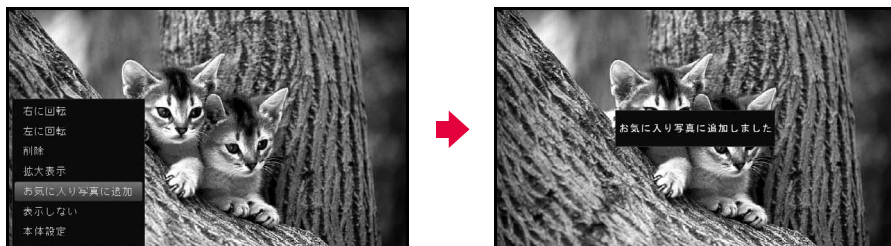
お気に入りに写真を登録すると、登録した写真だけをスライドショーで表示できます。

1 スライドショー表示中に ▤ をタッチする

機能メニューが表示されます。

2 ∧ / ∨ をタッチして「お気に入り写真に追加」を選び OK をタッチする

表示中の写真がお気に入りに登録されます。

- お気に入りから解除する場合は、「お気に入り写真から削除」を選択してください。

3 スライドショーを再開するには OK をタッチする

お知らせ

- お気に入りに登録した写真をスライドショーで表示する方法は、P.37の「お気に入り写真を表示する」をご覧ください。
- 配信コンテンツやドコモからのお知らせは、お気に入りに登録できません。

表示する写真の変更

本体内のすべての写真を表示する

本体に保存されているすべての写真をスライドショーで表示します。

- 配信コンテンツ（P.41）とドコモからのお知らせ（P.42）は表示されません。

1 [ホーム] をタッチする

ホームメニューが表示されます。

2 「本体内写真」を選び OK をタッチする

写真一覧の選択画面が表示されます。

3 ∧ / ∨ をタッチして「すべての写真を表示」を選び OK をタッチする

本体内の写真一覧画面が表示されます。

写真一覧画面の表示内容

4 OK をタッチする

- ∧/∨/＜/＞ で表示したい写真を選んでから OK をタッチすると、選んだ写真からスライドショーが開始されます。

お知らせ

- 本体で表示できない写真には、写真一覧画面に が表示されます。本体で表示できる写真の詳細については、「主な仕様」（P.84）をご覧ください。
- 写真一覧画面の一番左の写真に選択枠が表示されているときに ＜ をタッチすると、写真一覧の選択画面に戻ります。
- SD カードに保存されている写真を表示するには、P.52 の「SD カード内写真を表示する」をご覧ください。
- 複数の写真をまとめて受信した場合、受信状況によっては、受信した写真の順番が送信者から送られた順番とは異なることがあります。

お気に入り写真を表示

お気に入り写真を表示する

「お気に入り」に登録した写真だけをスライドショーで表示します。

- 「お気に入り」に登録する方法は、P.34の「お気に入りに登録する」をご覧ください。

1 をタッチする

ホームメニューが表示されます。

2 「本体内写真」を選び OK をタッチする

写真一覧の選択画面が表示されます。

3 ∧ / ∨ をタッチして「お気に入り写真を表示」を選び OK をタッチする

「お気に入り」に登録されている写真一覧画面が表示されます。

- 写真一覧画面の表示内容→P.36

4 OK をタッチする

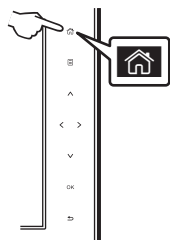
- ∧ / ∨ / < / > で表示したい写真を選んでから OK をタッチすると、選んだ写真からスライドショーが開始されます。

送信者別に写真を表示

送信者別に写真を表示する

特定の送信者から送られてきた写真だけをスライドショーで表示します。

1 ⌂ をタッチする

ホームメニューが表示されます。

2「本体内写真」を選び OK をタッチする

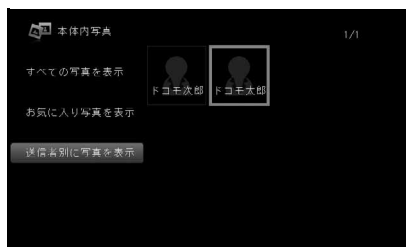
写真一覧の選択画面が表示されます。

3 ∧/∨ をタッチして「送信者別に写真を表示」を選び OK をタッチする

送信者選択画面が表示されます。

4 ∧/∨/</> で送信者を選び OK をタッチする

送信者別の写真一覧画面が表示されます。

- 写真一覧画面の表示内容→P.36

5 OK をタッチする

- ∧/∨/</> で表示したい写真を選んでから OK をタッチすると、選んだ写真からスライドショーが開始されます。

サイト指定写真を表示

お便りフォトサイト指定写真を表示する

「お便りフォトサイト」で管理者が指定した写真をスライドショーで表示します。

- お便りフォトサービスについて詳しくは、別冊の「ご利用ガイドブック」をご覧ください。
- 管理者が「お便りフォトサイト」でスライドショーに表示する写真を指定していない場合は、本機能を選択できません。

1 ホーム をタッチする

ホームメニューが表示されます。

2 < / > をタッチして「フォトサイト」を選び OK をタッチする

表示内容の選択画面が表示されます。

3 ∧ / ∨ をタッチして「サイト指定写真を表示」を選び OK をタッチする

サイト指定写真一覧画面が表示されます。

- 写真一覧画面の表示内容→P.36

4 OK をタッチする

- ∧ / ∨ / < / > で表示したい写真を選んでから OK をタッチすると、選んだ写真からスライドショーが開始されます。

配信コンテンツを表示する

受信した配信コンテンツを表示します。

- 配信コンテンツを受信していない場合は、本機能を選択できません。
- 配信コンテンツは、SDカードにコピー／移動ができません。

1 [ホーム] をタッチする

ホームメニューが表示されます。

2 [<]/[>] をタッチして「フォトサイト」を選び [OK] をタッチする

表示内容の選択画面が表示されます。

3 [∧]/[∨] をタッチして「配信コンテンツ」を選び [OK] をタッチする

配信コンテンツの写真一覧画面が表示されます。

- 写真一覧画面の表示内容→P.36

4 [OK] をタッチする

- [∧]/[∨]/[<]/[>] で表示したい写真を選んでから [OK] をタッチすると、選んだ写真からスライドショーが開始されます。

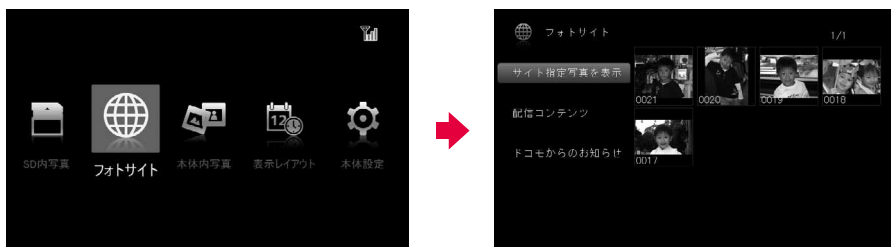
ドコモからのお知らせを表示する

お便りフォトサービスについてなど、ドコモからのお知らせを表示します。

1 [ホーム] をタッチする

ホームメニューが表示されます。

2 [<] / [>] をタッチして「フォトサイト」を選び OK をタッチする

表示内容の選択画面が表示されます。

3 [∧] / [∨] をタッチして「ドコモからのお知らせ」を選び OK をタッチする

お知らせ一覧画面が表示されます。

4 OK をタッチする

- [∧] / [∨] / [<] / [>] で表示したいお知らせを選んでから OK をタッチすると、選んだお知らせから順番に表示されます。

表示レイアウトの変更

ディスプレイのレイアウトを変更する

本体のディスプレイには、写真と一緒に時計やカレンダーを表示させることができます。設定できるレイアウトは次のとおりです。

項　目	説　明
写真のみ表示	写真だけを表示します。
写真＋タイトルを表示	写真とタイトルを表示します。
写真＋メッセージ内容を表示	写真とメッセージ内容を表示します。
写真＋時計（アナログ）を表示	写真とアナログ時計を表示します。
写真＋時計（デジタル）を表示	写真とデジタル時計を表示します。
写真＋カレンダーを表示	写真とカレンダー※を表示します。 ・カレンダーは、1970年1月1日から2030年12月31日まで表示できます。 ・∧/∨をタッチして、カレンダーの表示月を切り替えることができます。

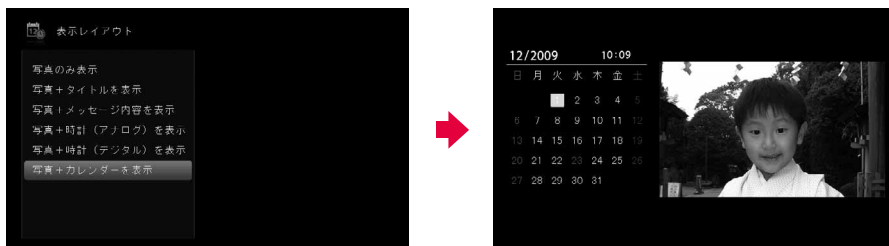
※：お買い上げ時に登録されている祝日は「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律（平成17年法律第43号までのもの）」に基づいています。また、春分の日、秋分の日の日付は前年の2月1日の官報で発表されるため異なる場合があります（2009年3月現在）。また、上記法律は2007年1月から施行されていますが、2006年までの一部の祝日、振替休日については、改正前の日付で表示されないため、ご注意ください。
本体では、2015年12月31日までの祝日を表示できます。

1 [ホーム] をタッチする

ホームメニューが表示されます。

2 [<] / [>] をタッチして「表示レイアウト」を選び [OK] をタッチする

表示レイアウト設定画面が表示されます。

3 [∧] / [∨] をタッチしてレイアウトを選び [OK] をタッチする

「写真＋カレンダーを表示」を選んだ場合

お知らせ

- 「写真＋時計」「写真＋カレンダー」に設定すると、写真の回転や削除などができなくなります。また、送信者名や写真ID、およびタイトルやメッセージなども表示されません。

日付と時刻

時計を設定する

本体の日付や時刻は、自動的に調整されます。電波の受信レベルが 圏外 の場合など、日付・時刻が自動的に調整されないときは、手動で設定することができます。

- 設定できる日付・時刻は、1970年1月1日0時0分から2030年12月31日23時59分までです。
- 日付・時刻が自動的に調整されると、手動で設定した内容が変わってしまうことがあります。

〈例〉2009年12月1日 午前8時30分に設定する場合

1 ホーム をタッチする

ホームメニューが表示されます。

2 < / > をタッチして「本体設定」を選び OK をタッチする

本体設定画面が表示されます。

3 ∧ / ∨ をタッチして「日付と時刻」を選び OK をタッチする

4 時刻を設定する

- ＜/＞で設定する欄に移動し、∧/∨で数値を変更します。
- 時刻の表示形式は「12H」（12時間制）と「24H」（24時間制）から選択します。

5 ＜/＞をタッチして「OK」を選び OK をタッチする

■ 時刻を設定しないで終了する場合

＜/＞をタッチして「OK」を選び、∧/∨をタッチして「閉じる」を選んで OK をタッチします。

6 ⌂ をタッチする

ホームメニューが表示され、約30秒経過すると自動的にスライドショーが表示されます。

- 写真を選んで、すぐにスライドショーを表示させることもできます。→P.35、P.52

● 日付・時刻の自動調整について

本体の電源を入れたとき、または24時間ごとにネットワークから受信した時刻情報を基に、本体の日付・時刻が自動的に調整されます。電源を入れてもしばらく調整されない場合は、電源を入れ直してください。

- 数秒程度の誤差が発生する場合があります。また、電波の受信状況によっては、調整できない場合があります。
- 本体にFOMAカードが取り付けられていない場合は、日付･時刻は自動的に調整されません。

カレンダーで週の始まる曜日を設定する

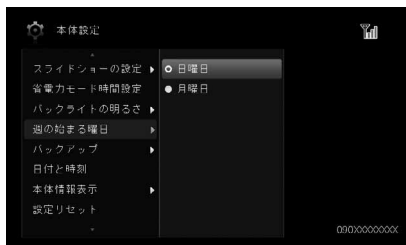
カレンダー表示時（P.44）に1週間の始まりを日曜日、または月曜日に設定できます。

1 [ホーム] をタッチする

ホームメニューが表示されます。

2 [<] / [>] をタッチして「本体設定」を選び [OK] をタッチする

本体設定画面が表示されます。

3 [∧] / [∨] と [OK] で「週の始まる曜日」→「日曜日」または「月曜日」を順に選択する

4 [ホーム] をタッチする

ホームメニューが表示され、約30秒経過すると自動的にスライドショーが表示されます。

- 写真を選んで、すぐにスライドショーを表示させることもできます。→P.35、P.52

SDカードの利用

SDカードについて

本体では、SDカードに保存されている写真を表示したり、本体とSDカードの間で写真のコピー／移動を行ったりできます。
本章では、SDカードの利用方法を説明します。

利用可能なSDカード

次のメモリカードがご使用になれます。本書では、本体で利用可能なメモリカードを「SDカード」と表記して、説明しています。

- SDカード（最大2Gバイト）
- SDHCカード（最大8Gバイト）
- MMC（MultiMediaCard）（最大2Gバイト）

※ ただし、すべてのメモリカードの動作を保証するものではありません。また、SDカードのファイルシステムにより、保存可能な画像の枚数に制限があります。

お知らせ

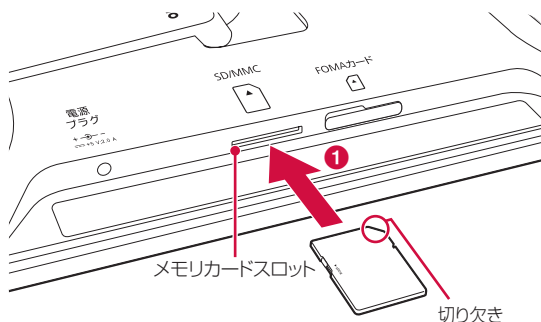
- miniSD／microSDカードをお使いの場合は、別途アダプタが必要です。

使用上のご注意

- 本体に衝撃を与えないでください。SDカードが損傷したり、データが壊れたりする場合があります。
- SDカードにラベルやシールを貼らないでください。接触不良やデータの消失などの原因となることがあります。
- データの読み込み中／書き込み中に本体の電源を切ったり、SDカードを抜いたりしないでください。データが消えたり、壊れたりする場合があります。
- SDカードに保存されたデータは、バックアップを取るなどして別に保管してくださるようお願いします。万が一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

SDカードを取り付ける／取り外す

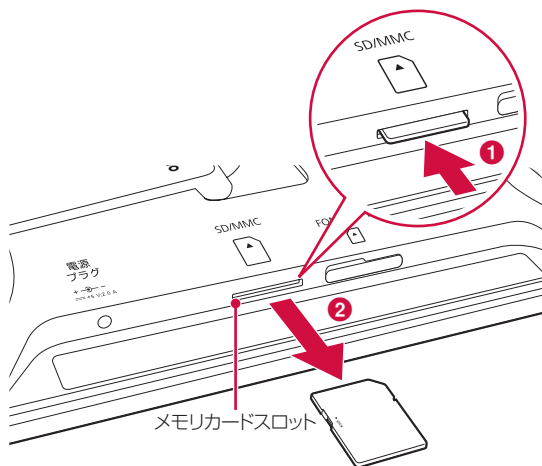
- SDカードの取り付け／取り外しの際に、金属端子部分に触れないようにご注意ください。また、SDカードが飛び出す場合がありますので、ご注意ください。
- SDカードの取り付け／取り外しは、本体の電源を切った状態で行ってください。

SDカードを取り付ける

1 SDカードの金属端子部分を下にして、上図の1の方向にメモリカードスロットの奥まで差し込む

- 「カチッ」と音がするまで、ゆっくり差し込んでください。

お知らせ

- SDカードの向きに注意して正しく取り付けてください。誤った向きに取り付けると、SDカードやメモリカードスロットが破損する恐れがあります。
- 傷や変形があったり、ゴミなどが付着していたりするSDカードは、本体に取り付けないでください。故障の原因となる場合があります。

SDカードを取り外す

1 SDカードを上図の❶の方向にメモリカードスロットの奥まで押し込んでから離す

押し込むとSDカードが少し出てきます。

2 SDカードを上図の❷の方向へまっすぐ抜き取る

SD内写真

SDカード内写真を表示する

SDカードに保存されている写真を表示します。

- あらかじめSDカードを、本体に取り付けておいてください。SDカードを取り付けていない場合は、「SD内写真」を選ぶことができません。
- 本体で表示できる写真のファイル形式は、以下のとおりです。ただし、表示可能なファイル形式でも、画像によっては表示できない場合があります。

ファイル形式	表示可能な画素数、サイズ
JPEG※1	4,096ドット×4,096ドット、10Mバイト
プログレッシブJPEG※1	1,024ドット×768ドット、10Mバイト
GIF※2	1,024ドット×768ドット
BMP※3	800ドット×480ドット、1.09Mバイト

※1：YUV420、YUV422、YUV444の各サンプリングによる画像を表示できます。
※2：GIFアニメーションの場合は、ファイル中の1枚の画像を静止画として表示します。
※3：24ビットまでの画像を表示できます。

1 ⌂ をタッチする

ホームメニューが表示されます。

2 ＜ / ＞ をタッチして「SD内写真」を選び OK をタッチする

写真一覧画面が表示されます。

- 写真一覧画面の表示内容→P.36

3 OK をタッチする

- ∧ / ∨ / ＜ / ＞ で表示したい写真を選んでから OK をタッチすると、選んだ写真からスライドショーが開始されます。

お知らせ

- 操作中やスライドショー表示中に、SDカードを取り外さないでください。
- 本体で表示できない写真は、写真一覧画面に が表示されます。

SDカードから本体へ写真をコピー／移動する

SDカードに保存されている写真を、本体にコピー／移動できます。

- あらかじめSDカードを、本体に取り付けておいてください。SDカードを取り付けていない場合は、「SD内写真」を選ぶことができません。

〈例〉コピーする場合

1 [ホーム] をタッチする

ホームメニューが表示されます。

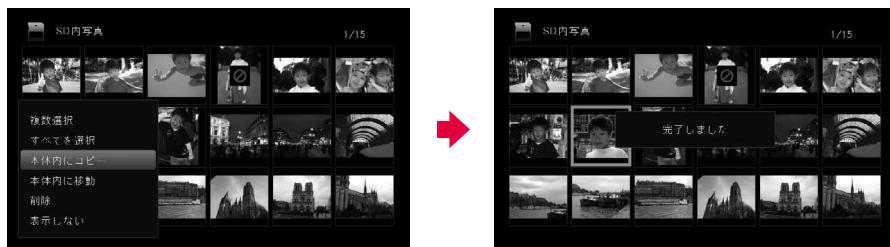
2 [<] / [>] をタッチして「SD内写真」を選び [OK] をタッチする

写真一覧画面が表示されます。

3 [∧] / [∨] / [<] / [>] でコピーしたい写真を選び [メニュー] をタッチする

4 ∧/∨ をタッチして「本体内にコピー」を選び OK をタッチする

選んだ写真が本体にコピーされます。

- 複数の写真を続けて選んだり、すべての写真を一度にまとめて選んだりすることもできます。→P.74、P.75

■ 移動する場合

∧/∨ をタッチして「本体内に移動」を選び OK をタッチします。

5 🏠 をタッチする

ホームメニューが表示され、約30秒経過すると自動的にスライドショーが表示されます。

- 写真を選んで、すぐにスライドショーを表示させることもできます。→P.35、P.52

お知らせ

- コピー／移動先に同じファイル名の写真が保存されている場合は、別のファイル名で保存するかどうかの確認画面が表示されます。
  保存する場合は、∧/∨ をタッチして「はい」を選び OK をタッチしてください。
  元のファイル名に連番を付与して保存します。
  （例）「<ファイル名>_1」
- コピー／移動が完了するまでSDカードを取り外さないでください。
- コピー／移動したい写真のデータ容量が本体のメモリの空き容量より大きい場合は、「失敗しました」と表示され、空き容量を超える分の写真はコピー／移動されません。

本体からSDカードへ写真をコピー／移動する

本体に保存されている写真を、SDカードにコピー／移動できます。コピー／移動した写真は、SDカードに自動的に作成された「PhotoPanel」フォルダに保存されます。

- あらかじめSDカードを、本体に取り付けておいてください。
- メッセージなど写真以外のデータはコピー／移動できません。

〈例〉コピーする場合

1 ［ホーム］をタッチする

ホームメニューが表示されます。

2 「本体内写真」を選び OK をタッチする

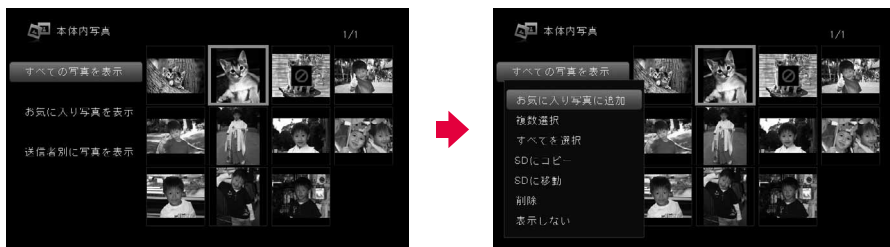
写真一覧の選択画面が表示されます。

3 ∧／∨ をタッチして「すべての写真を表示」を選び OK をタッチする

本体内の写真一覧画面が表示されます。

- 「お気に入り写真を表示」または「送信者別に写真を表示」を選んで、コピー／移動する写真を選択することもできます。→P.37、P.38

4 ∧/∨/＜/＞ でコピーしたい写真を選び 目 をタッチする

- 複数の写真を続けて選んだり、すべての写真を一度にまとめて選んだりすることもできます。→P.74、P.75

5 ∧/∨ をタッチして「SDにコピー」を選び OK をタッチする

選んだ写真がSDカードにコピーされます。

■ 移動する場合

∧/∨ をタッチして「SDに移動」を選び OK をタッチします。

6 ⌂ をタッチする

ホームメニューが表示され、約30秒経過すると自動的にスライドショーが表示されます。

- 写真を選んで、すぐにスライドショーを表示させることもできます。→P.35、P.52

お知らせ

- コピー／移動先に同じファイル名の写真が保存されている場合は、別のファイル名で保存するかどうかの確認画面が表示されます。
  保存する場合は、∧/∨ をタッチして「はい」を選び OK をタッチしてください。
  元のファイル名に連番を付与して保存します。
  (例)「<ファイル名>_1」
- SDカードの空き容量が不足した場合は、「失敗しました」と表示され、写真をコピー／移動できません。SDカードから不要な写真などを削除するか、または空き容量が十分あるSDカードを取り付けてください。
  ※ 取り付けたSDカードに空き容量が無いことは、お知らせしませんのでご注意ください。
- コピー／移動が完了するまでSDカードを取り外さないでください。
- 配信コンテンツやドコモからのお知らせは、SDカードにコピー／移動できません。

バックアップ

SDカードにバックアップを行う

「バックアップ」を行うと、本体に保存されている写真やメッセージなどを、SDカードに一括してコピーできます。
バックアップした写真やメッセージなどは、一括して本体に戻すことができます。

- バックアップされる内容は、次のとおりです。
  - 写真
  - 受け取った写真の差出人情報、メッセージ
  - 配信コンテンツの受信内容、ドコモからのお知らせの受信内容
  - 写真の回転、非表示の設定情報

本体からSDに保存

バックアップを行う

- あらかじめSDカードを、本体に取り付けておいてください。
- バックアップデータは上書き保存されます。前回保存したバックアップデータは消去され、最新のバックアップデータのみ保存されますのでご注意ください。

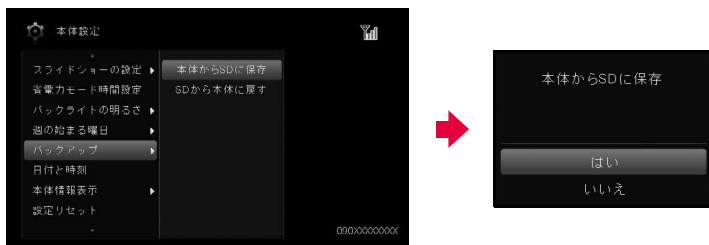
1 [ホーム]をタッチする

ホームメニューが表示されます。

2 [<]/[>]をタッチして「本体設定」を選び[OK]をタッチする

本体設定画面が表示されます。

3 ∧ / ∨ と OK で「バックアップ」→「本体からSDに保存」→「はい」を順に選択する

バックアップが開始され、ディスプレイには「バックアップ中」と表示されます。バックアップが完了すると、ディスプレイに「完了しました」と表示されます。

- 「完了しました」の表示は、自動的に消えます。

4 ⌂ をタッチする

ホームメニューが表示され、約30秒経過すると自動的にスライドショーが表示されます。

- 写真を選んで、すぐにスライドショーを表示させることもできます。→P.35、P.52

お知らせ

- バックアップが完了するまでSDカードを取り外さないでください。

SDから本体に戻す

バックアップを行った写真や設定を本体に戻す

SDカードに保存されているデータ（写真やメッセージなど）を本体に復元します。

- 復元すると、本体に保存されているデータはすべて消去され、SDカード内のバックアップデータに入れ替わります。
- データが存在しない状態でバックアップされた機能は、復元を行うとバックアップ後に保存したデータがすべて消去されますのでご注意ください。
- あらかじめバックアップを行ったSDカードを、本体に取り付けておいてください。

1 ⌂ をタッチする

ホームメニューが表示されます。

2 < / > をタッチして「本体設定」を選び OK をタッチする

本体設定画面が表示されます。

3 ∧ / ∨ と OK で「バックアップ」→「SDから本体に戻す」→「はい」を順に選択する

SDカードに保存されているデータの復元が開始され、ディスプレイには「SDから本体にデータコピー中」と表示されます。バックアップが完了すると、ディスプレイに「完了しました」と表示されます。

- 「完了しました」の表示は、自動的に消えます。

4 ⌂ をタッチする

ホームメニューが表示され、約30秒経過すると自動的にスライドショーが表示されます。

- 写真を選んで、すぐにスライドショーを表示させることもできます。→P.35、P.52

お知らせ

- 復元が完了するまでSDカードを取り外さないでください。

設定の変更

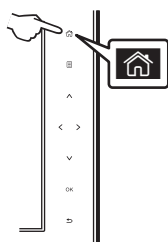
写真の切り替え効果を変更する

スライドショー表示の写真が切り替わるときの効果を設定します。

• 設定できる効果は次のとおりです。

項　目	説　明
効果なし	効果を付けずに写真が切り替わります。
ランダム	各効果が不規則に切り替わります。
ロールページ	巻き取られていた写真を開くように切り替わります。
ページめくり	ページをめくるように切り替わります。
グレーティング	格子戸が開いて写真が表示されるように切り替わります。
フェード	次の写真へフェードインするように徐々に切り替わります。
ワイプ（左から右）	次の写真へ左から右へスライドして切り替わります。
ワイプ（上から下）	次の写真へ上から下へスライドして切り替わります。
スパイラル	写真の外周から内側へ向かって回転しながら切り替わります。
ブラインド	ブラインドを下ろすように写真が切り替わります。
モザイク	モザイク状に写真が切り替わります。
ライン	多数の線が徐々に消えるような効果で写真が切り替わります。
スプレッド	写真が中央から外に向かって切り替わります。
チェスボード	チェス盤の格子状の模様から写真が切り替わります。
アトミック	ピントが徐々に合うような効果で写真が切り替わります。
クロス	十字架が閉じるような効果で写真が切り替わります。
エクステンド	中央から外に広がるように写真が切り替わります。

1 [ホーム] をタッチする

ホームメニューが表示されます。

2 ＜/＞ をタッチして「本体設定」を選び OK をタッチする

本体設定画面が表示されます。

3 ∧/∨ と OK で「スライドショーの設定」→「エフェクト効果」を順に選択する

4 ∧/∨ で切り替え効果を選び OK をタッチする

切り替え効果が設定されます。

5 🏠 をタッチする

ホームメニューが表示され、約30秒経過すると自動的にスライドショーが表示されます。

- 写真を選んで、すぐにスライドショーを表示させることもできます。→P.35、P.52

お知らせ

- 「表示レイアウト」(P.44)を「写真＋時計」「写真＋カレンダー」に設定している場合は、「効果なし」の設定と同様に写真が切り替わります。

写真の切り替え間隔を変更する

スライドショー表示の写真が切り替わる間隔を5秒〜24時間までの7種類から選択します。

1 をタッチする

ホームメニューが表示されます。

2 < / > をタッチして「本体設定」を選び OK をタッチする

本体設定画面が表示されます。

3 ∧ / ∨ と OK で「スライドショーの設定」→「切り替え間隔」を順に選択する

4 ∧ / ∨ で切り替え間隔を選び OK をタッチする

切り替え間隔が設定されます。

5 をタッチする

ホームメニューが表示され、約30秒経過すると自動的にスライドショーが表示されます。

- 写真を選んで、すぐにスライドショーを表示させることもできます。→P.35、P.52

再生順

スライドショー表示の順番をランダムに変更する

- お買い上げ時は、「日付順」（写真を受け取った日時／保存日時の新しいものから順に表示する）に設定されています。

1 [ホーム] をタッチする

ホームメニューが表示されます。

2 [<] / [>] をタッチして「本体設定」を選び OK をタッチする

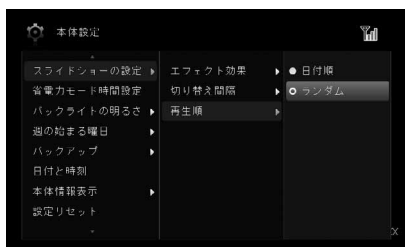
本体設定画面が表示されます。

3 [∧] / [∨] と OK で「スライドショーの設定」→「再生順」→「ランダム」を順に選択する

4 [ホーム] をタッチする

ホームメニューが表示され、約30秒経過すると自動的にスライドショーが表示されます。

- 写真を選んで、すぐにスライドショーを表示させることもできます。→P.35、P.52

省電力モード時間設定

画面の消灯／点灯時間を設定する

時刻を指定して、本体のディスプレイを自動的に消灯／点灯させることで表示不要な時間帯の消費電力を抑えることができます。就寝時刻と起床時刻などに設定すると便利です。

〈例〉消灯時間を午後10時30分、点灯時間を午前7時30分に設定する場合

1 [ホーム] をタッチする

ホームメニューが表示されます。

2 [＜]/[＞] をタッチして「本体設定」を選び OK をタッチする

本体設定画面が表示されます。

3 [∧]/[∨] をタッチして「省電力モード時間設定」を選び OK をタッチする

4 [＜]/[＞] をタッチして「消灯時間」の「AM/PM」欄を選び、[∧]/[∨] をタッチして「PM」を選ぶ

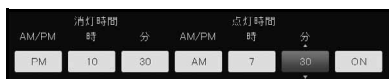
設定の変更

5 ＜/＞をタッチして「消灯時間」の「時」欄を選び、∧/∨をタッチして「10」を選ぶ

6 ＜/＞をタッチして「消灯時間」の「分」欄を選び、∧/∨をタッチして「30」を選ぶ

7 ＜/＞をタッチして「点灯時間」の「AM/PM」欄を選び、∧/∨をタッチして「AM」を選ぶ

8 ＜/＞をタッチして「点灯時間」の「時」欄を選び、∧/∨をタッチして「7」を選ぶ

9 ＜/＞をタッチして「点灯時間」の「分」欄を選び、∧/∨をタッチして「30」を選ぶ

10 ＜/＞をタッチして「ON」の欄を選びOKをタッチする

■ 時間を設定しないで終了する場合

＜/＞をタッチして「ON」の欄を選び、∧/∨をタッチして「OFF」を選んでOKをタッチします。

11 ⌂をタッチする

ホームメニューが表示され、約30秒経過すると自動的にスライドショーが表示されます。

- 写真を選んで、すぐにスライドショーを表示させることもできます。→P.35、P.52

お知らせ

- 本設定によってディスプレイが消灯しているときも電源ランプは点灯します。
- 消灯中でも、タッチボタンのいずれかのボタンを２回タッチするとディスプレイを点灯することができます。
- 消灯中に新しい写真を受け取ったときは、次にディスプレイが点灯するときまでお知らせされません。

バックライトの明るさ

画面の明るさを調整する

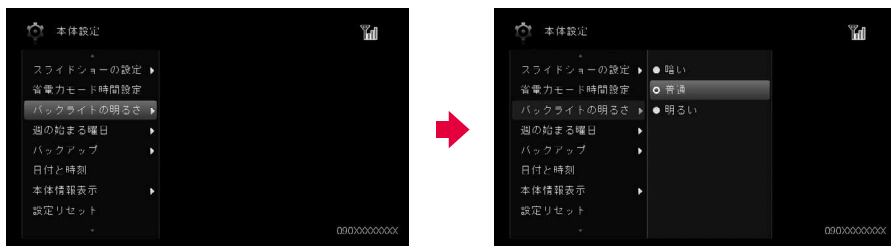
ディスプレイの明るさを3段階に調整できます。

1 [ホーム] をタッチする

ホームメニューが表示されます。

2 [<] / [>] をタッチして「本体設定」を選び OK をタッチする

本体設定画面が表示されます。

3 [∧] / [∨] で「バックライトの明るさ」を選び OK をタッチする

4 [∧] / [∨] で明るさを選び OK をタッチする

明るさが設定されます。

5 [ホーム] をタッチする

ホームメニューが表示され、約30秒経過すると自動的にスライドショーが表示されます。

- 写真を選んで、すぐにスライドショーを表示させることもできます。→P.35、P.52

本体情報表示

本体の情報を確認する

本体およびSDカードの空き容量などを表示します。

- 項目ごとに、次の情報が表示されます。

項　目	情　報
メモリ利用状況	本体およびSDカード（取り付けている場合のみ）のメモリの空き容量とメモリ容量が表示されます。
本体バージョン	ソフトウェアのバージョン情報などが表示されます。

1 ［ホーム］をタッチする

ホームメニューが表示されます。

2 ［＜］/［＞］をタッチして「本体設定」を選び［OK］をタッチする

本体設定画面が表示されます。

3 ∧/∨で「本体情報表示」を選び OK をタッチする

4 ∧/∨で表示したい項目を選び OK をタッチする

5 ⌂ をタッチする

ホームメニューが表示され、約30秒経過すると自動的にスライドショーが表示されます。

- 写真を選んで、すぐにスライドショーを表示させることもできます。→P.35、P.52

設定リセット

本体の各設定をお買い上げ時の状態に戻す

本体の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

- お買い上げ時の状態に戻る設定項目は、次のとおりです。
  - エフェクト効果
  - 省電力モード時間設定
  - 表示レイアウト
  - 切り替え間隔
  - バックライトの明るさ
  - 電源ON後再生するスライドショー
  - 再生順
  - 週の始まる曜日

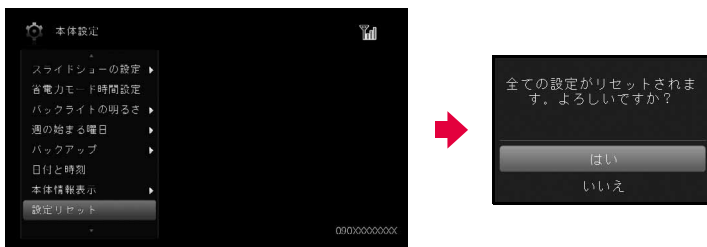
1 をタッチする

ホームメニューが表示されます。

2 < / > をタッチして「本体設定」を選び OK をタッチする

本体設定画面が表示されます。

3 ∧ / ∨ と OK で「設定リセット」→「はい」を順に選択する

本体の各設定がお買い上げ時の状態に戻ります。

4 をタッチする

ホームメニューが表示され、約30秒経過すると自動的にスライドショーが表示されます。

- 写真を選んで、すぐにスライドショーを表示させることもできます。→P.35、P.52

端末初期化

登録されているデータを一括して削除する

本体に保存されている写真やメッセージなどをすべて削除して、各設定をお買い上げ時の状態に戻します。削除したデータは、元に戻すことができませんのでご注意ください。

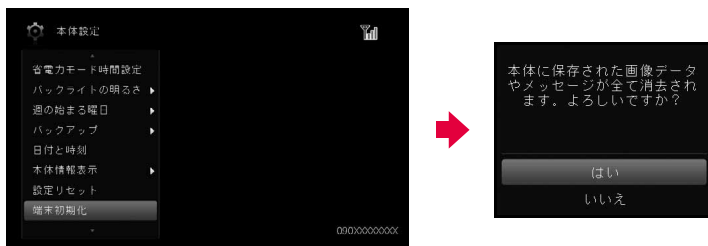
- お買い上げ時に保存されている本体の使いかたを紹介する画像は削除されません。

1 [ホーム]をタッチする

ホームメニューが表示されます。

2 [<]/[>]をタッチして「本体設定」を選び[OK]をタッチする

本体設定画面が表示されます。

3 [∧]/[∨]と[OK]で「端末初期化」→「はい」を順に選択する

4 [ホーム]をタッチする

ホームメニューが表示され、約30秒経過すると自動的にスライドショーが表示されます。

- 写真を選んで、すぐにスライドショーを表示させることもできます。→P.35、P.52

お知らせ

- 初期化が完了するまで、しばらく時間がかかる場合があります。

付録／困ったときには

メニュー一覧

スライドショー表示中の機能メニュー

項　目	説　明	参照ページ
右に回転	写真の向きを右（時計回り）に90°回転します。	P.30
左に回転	写真の向きを左（反時計回り）に90°回転します。	
削除	表示中の写真を削除します。	P.32
拡大表示	表示中の写真を拡大表示します。	P.31
お気に入り写真に追加（お気に入り写真から削除）※1	表示中の写真をお気に入りに登録／解除します。	P.34
表示しない	表示中の写真がスライドショー表示されないように設定します。	P.33
本体設定	本体設定画面を表示します。	P.75

写真一覧画面の機能メニュー

項　目	説　明		参照ページ
お気に入り写真に追加（お気に入り写真から削除）※2	選んだ写真をお気に入りに登録／解除します。		P.34
複数選択	複数の写真を選択して、一括して削除やコピーなどの操作を行います。 1 ∧／∨／＜／＞をタッチして操作したい写真を選び OK をタッチする 選んだ写真に ✓ マークが付きます。 2 操作1を繰り返して複数の写真を選択する 3 目 をタッチする 以下の項目が表示されます。		—
	SDにコピー※2	選んだ写真を、SDカードにコピーします。	P.56
	SDに移動※2	選んだ写真を、SDカードに移動します。	
	本体内にコピー※3	選んだ写真を、本体にコピーします。	P.54
	本体内に移動※3	選んだ写真を、本体に移動します。	
	お気に入り写真に追加※2	選んだ写真をお気に入りに登録します。	P.34
	お気に入り写真から削除※2	選んだ写真をお気に入りから解除します。	
	削除	選んだ写真を削除します。	P.32
	すべてを選択	すべての写真を選択します。	—
	すべての選択を解除	すべての写真を選択解除します。	—

写真一覧画面の機能メニュー

項　目	説　明		参照ページ
複数選択	表示しない	選んだ写真がスライドショー表示されないように設定します。	P.33
	表示する	選んだ写真がスライドショー表示されるように設定します。	
すべてを選択	すべての写真を選択します。		―
SDにコピー※2	選んだ写真を、SDカードにコピーします。		P.56
SDに移動※2	選んだ写真を、SDカードに移動します。		
本体内にコピー※3	選んだ写真を、本体にコピーします。		P.54
本体内に移動※3	選んだ写真を、本体に移動します。		
削除	選んだ写真を削除します。		P.32
表示しない（表示する）	選んだ写真のスライドショーへの表示／非表示を設定します。		P.33

本体設定画面のメニュー

項　目		説　明	参照ページ
スライドショーの設定	エフェクト効果	スライドショー表示の写真が切り替わるときの効果を設定します。 お買い上げ時：ランダム	P.62
	切り替え間隔	スライドショー表示の写真が切り替わるまでの時間を選択します。 お買い上げ時：30秒	P.64
	再生順	スライドショー表示の順番をランダムに変更します。 お買い上げ時：日付順	P.65
省電力モード時間設定		時刻を指定して、本体のディスプレイを自動的に消灯／点灯します。 お買い上げ時：OFF	P.66
バックライトの明るさ		ディスプレイの明るさを調整します。 お買い上げ時：普通	P.68
週の始まる曜日		カレンダーで週の始まる曜日を設定します。 お買い上げ時：日曜日	P.48
バックアップ	本体からSDに保存	本体に保存されているすべての写真やメッセージなどを、SDカードに一括してコピーします。	P.58
	SDから本体に戻す	バックアップを行ったときの状態（保存されている写真と設定）に戻します。	P.59
日付と時刻		日付、時刻を設定します。 お買い上げ時：1970年1月1日 0時0分	P.46

■：「設定リセット」（P.71）でお買い上げ時の設定に戻る項目を示します。

本体設定画面のメニュー

項　目		説　明	参照ページ
本体情報表示	メモリ利用状況	本体およびSDカードの空き容量などを表示します。	P.69
	本体バージョン	ソフトウェアのバージョン情報などが表示されます。	
設定リセット		本体の各設定をお買い上げ時の状態に戻します。	P.71
端末初期化		本体に保存されている写真をすべて削除して、各設定をお買い上げ時の状態に戻します。	P.72

※1：SDカード内の写真をスライドショー表示中の場合は、表示されません。
※2：SDカード内の写真を選んだ場合は、表示されません。
※3：SDカード内の写真を選んだ場合のみ、表示されます。

お知らせ

- 「表示レイアウト」（P.44）を「写真＋時計」「写真＋カレンダー」に設定している場合は、「本体設定」だけが表示されます。
- 配信コンテンツやドコモからのお知らせをスライドショーで表示中は、「削除」だけが表示されます。
- 配信コンテンツやドコモからのお知らせの一覧画面表示中は、「複数選択」「すべてを選択」「削除」だけが表示されます。また、「複数選択」を選んだ場合は、「削除」「すべてを選択」「すべての選択を解除」だけが表示されます。

故障かな？と思ったら

気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、取扱説明書裏面の「ドコモお便りフォトサポートセンター」までお気軽にご相談ください。

■ 電源に関する症状

症状	チェック項目	対処方法	参照ページ
電源が入らない。	付属のフォトパネルACアダプタ02が正しく接続されていますか。	正しく接続してください。	P.21

■ 受信に関する症状

症状	チェック項目	対処方法	参照ページ
写真が受信できない。	お便りフォトサイトへの登録は済んでいますか。	登録がお済みでないときは、お便りフォトサイトのご利用マニュアルを参照して、登録してください。	―
	指定のFOMAカードを使用していますか。	本体で契約されたFOMAカードを使用してください。	―
電波の受信レベルが圏外と表示されている。	FOMAカードは正しく取り付けられていますか。	本体の電源を切り、FOMAカードを正しく取り付けてください。	P.18
	電波が受信できる場所に本体を設置していますか。	電波の受信レベルに圏外が表示されている場合は本体を電波が届く場所に設置してください。	P.23
サイト指定写真の写真が表示されない。	写真は送られてきていますか。	写真の送信者に、お便りフォトサイトに登録していただいたあと、写真を送信していただいてください。	―

■ ディスプレイの表示に関する症状

症状	チェック項目	対処方法	参照ページ
ときどき表示が消えてしまう。	「省電力モード時間設定」の設定時間になっていませんか。	「省電力モード時間設定」の設定時間を確認して、必要に応じて変更してください。	P.66
表示が暗いため、見づらい。	「バックライトの明るさ」が暗い設定になっていませんか。	「バックライトの明るさ」の設定を確認して、必要に応じて変更してください。	P.68

■ 写真の表示に関する症状

症状	チェック項目	対処方法	参照ページ
写真が表示されない。	写真は送られてきていますか。	送信者に写真を送信していただいてください。	―
	写真を削除されていませんか。	送信者に再度写真を送信していただいてください。	―
	写真が保存されているSDカードを取り付けていますか。	写真が保存されているSDカードを正しく取り付けてください。	P.51
	写真一覧画面にが表示されていませんか。	本体で表示できないファイル形式の写真です。本体で表示できるファイル形式を確認してください。	P.84

■ 写真の保存に関する症状

症状	チェック項目	対処方法	参照ページ
本体またはSDカードに写真が保存できない。	写真のコピー／移動など保存のときに「失敗しました」と表示されませんか。	保存先の本体またはSDカードの空き容量が不足しています。SDカードから不要な写真を削除するか、または空き容量が十分あるSDカードを取り付けてください。	P.32、P.51
	SDカードが取り付けられていますか。	SDカードを正しく取り付けてください。	P.51

■ その他の症状

症状	チェック項目	対処方法	参照ページ
スライドショーが始まらない。	写真の表示が一時停止の状態になっていませんか。	OK をタッチして、一時停止を解除してください。	P.28
	スライドショーの「切り替え間隔」が長い時間に設定されていませんか。	「切り替え間隔」の設定を確認して、必要に応じて変更してください。	P.64

こんな表示が出たら

エラーメッセージ

エラーメッセージ	説　明
画像がありません	本体またはSDカードの選択した項目に写真が保存されていない場合に表示されます。写真を送信していただくか、写真が保存されているSDカードを取り付けてください。→P.51
SDカードを挿入してください	バックアップを行うときにSDカードが正しく取り付けられていない場合に表示されます。SDカードが正しく取り付けられていることを確認してください。→P.51
FOMAカードを挿入してください	FOMAカードが正しく取り付けられていない場合や取り付けられているFOMAカードが破損または無効の可能性がある場合に表示されます。有効なFOMAカードが正しく取り付けられていることを確認してください。→P.18
SDカードのロックを解除してください	SDカードに画像をコピー／移動するときやバックアップを行うときにSDカードに誤消去防止が設定されている場合に表示されます。SDカードの誤消去防止が解除されていることを確認してください。
PINロック	FOMAカードにPIN1コード入力設定が設定されています。お使いのFOMA端末でPIN1コード入力設定を解除してください。解除方法は、お使いのFOMA端末の取扱説明書などでご確認ください。

通知メッセージ

エラーメッセージ	説　明
送信者側で設定値の変更が行われました。	送信者側によって、省電力モード時間設定の設定時間やバックライトの明るさの設定などが変更されました。
送信者側でサイト指定写真の変更が行われました。	送信者側によって、サイト指定写真が変更されました。→P.40
送信者側で送信者リストの変更が行われました。	送信者側によって、お便りフォトサービスの参加者が変更されました。参加者が削除された場合は、削除された参加者から受け取った本体の写真も自動的に削除されます。
送信者側で表示レイアウトの変更が行われました。	送信者側によって、スライドショーを表示するときの表示レイアウトが変更されました。
送信者側で写真の削除が行われました。	送信者側によって、写真が削除されました。
送信者側で写真の回転が行われました。	送信者側によって、写真の向きが回転されました。

保証とアフターサービス

保証について

- 本体をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より一年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 記録内容の保証はできません。万が一、本体の不具合により、記録ができなかった場合、および記録内容が破損または消去された場合、記録内容の保証についてはご容赦ください。
- バックアップをおすすめします。万が一の誤消去や破損に備えて、必ず予備のデータコピーをお取りください。

アフターサービスについて

調子が悪い場合は

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください。それでも調子がよくないときは、取扱説明書裏面・ドコモお便りフォトサポートセンターにご連絡のうえ、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（液晶画面・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■ 以下の場合は、修理できないことがあります。

- 故障受付窓口にて水濡れと判断した場合
- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（接続端子・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

  ※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

本体の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面・ドコモお便りフォトサポートセンターへお問い合わせください。

お願い

- 本体および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいたうえでお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - 液晶部やタッチボタン部にシールなどを貼る
    - 接着剤などにより本体に装飾を施す
    - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
- 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 本体に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。
  銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定などの情報は、本体の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- 本体内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本体の状態によって修理できないことがあります。

ダウンロード情報などについて

本体の故障修理をする際に、お客様が外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の本体を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合があります。

ソフトウェアを更新する

本体のソフトウェアを更新する必要があるかどうかネットワークに接続してチェックし、必要な場合にはソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。
本体を操作するうえで重要な部分であるソフトウェアを更新することで、本体の機能・操作性を向上させることができます。
ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページおよびｉMenuの「お客様サポート」にてご案内させていただきます。
※ソフトウェア更新を行う場合の通信料は無料となります。

- ソフトウェア更新中はACアダプタを取り外したり、電源を切ったりしないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新は、本体に保存された写真やメッセージなどのデータを残したまま行うことができますが、お客様の本体の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がございますので、あらかじめご了承願います。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。

■ ご利用にあたって

●以下の場合はソフトウェアを更新できません。

- 電源が入っていないとき
- 圏外にいるとき
- 他の機能を使用中のとき
- 通信中
- PIN1コードロック中
- FOMAカードを挿入していないとき

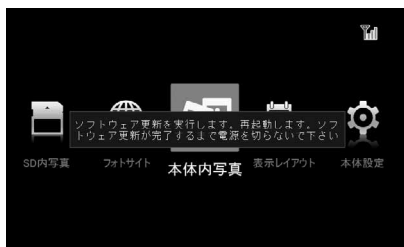
●ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかることがあります。
●ソフトウェア更新中は、写真の受け取りなどの各種通信機能および、その他の機能を利用できません。
●ソフトウェア更新は、電波が強く、電波の受信レベルのマークが3本表示されている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。
※ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止されたりした場合は、再度電波状態の良い場所でソフトウェア更新を行ってください。
●ソフトウェア更新の際、お客様の本体固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
●ソフトウェア更新に失敗した場合、「ソフトウェア更新に失敗しました。」と表示され、一切の操作ができなくなる場合があります。その場合には、大変お手数ですが取扱説明書裏面の「ドコモお便りフォトサポートセンター」までお問い合わせいただきますようお願いいたします。

ソフトウェア更新の流れ

ソフトウェア更新が必要な場合は、新しいソフトウェアを自動的にダウンロードして、更新が行われます。

1 新しいソフトウェアがダウンロードされる

ダウンロード中を示すマークが表示されます。ダウンロード完了後、マークは消えます。

2 ソフトウェア更新が開始される

3 書き換え完了後、本体が自動的に再起動する

再起動すると、ソフトウェア更新は完了します。

主な仕様

■ 本体

項目		内容
品名		フォトパネル 02
サイズ（スタンド含まず）		幅：約263mm　高さ：約177mm 厚さ：約28mm（最厚部：約39mm）
質量（ACアダプタ含まず）		本体色ホワイト：約696g　本体色ブラック：約686g
ディスプレイ	方式	TFT 16,194,277色
	サイズ	約9.0inch
	画素数	384,000画素（800ドット×480ドット）
対応画像形式（最大）※1		JPEG※2：4,096ドット×4,096ドット、10Mバイト プログレッシブJPEG※2：1,024ドット×768ドット、10Mバイト GIF※3：1,024ドット×768ドット BMP※4：800ドット×480ドット、1.09Mバイト
保存容量		約256Mバイト
対応メモリカード※5		SDカード：最大2Gバイト SDHCカード：最大8Gバイト MMC（MultiMediaCard）：最大2Gバイト

※1：表示可能なファイル形式でも、画像によっては表示できない場合があります。
※2：YUV420、YUV422、YUV444の各サンプリングによる画像を表示できます。
※3：GIFアニメーションの場合は、ファイル中の1枚の画像を静止画として表示します。
※4：24ビットまでの画像を表示できます。
※5：SDカードのファイルシステムにより、保存可能な画像の枚数に制限があります。

■ ACアダプタ

項目	内容
入力	AC 100V-240V　50-60 Hz、28-38VA、0.5A MAX
出力	DC 5.0V　2A

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受けます。本製品及び付属品を輸出及び再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問合せください。

知的財産権

著作権・肖像権

お客様が本製品を利用して受け取った画像など第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。また、お客様が本製品を利用して受け取った他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標

- 「FOMA」「ｉモード」「お便りフォトパネル」「お便りフォトサービス」はNTTドコモの商標または登録商標です。
- microSDHCロゴはSD-3C、LLCの商標です。
- フリーダイヤルサービス名称とフリーダイヤルロゴマークはNTTコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

索引

索引

マナーについて

本体を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。
こんな場合は必ず本体の電源を切ってください。

■ 使用禁止の場所にいる場合

本体を使用してはいけない場所があります。以下の場所では、必ず本体の電源を切ってください。

- 航空機内　• 病院内

※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、本体の電源を切ってください。

■ 植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

お便りフォトサービス・お便りフォトパネルに関するお問い合わせ先〈ドコモお便りフォトサポートセンター〉

■一般電話などからの場合
0120-130-360
※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

総合お問い合わせ先〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合
（局番なしの）151（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合
0120-800-000
※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページ、ｉモードサイトにてご確認の上、お近くのドコモショップなどにお問い合わせください。
ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/
ｉモードサイト　ｉMenu⇒お客様サポート⇒ドコモショップ

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　Huawei Technologies Co., Ltd.

再生紙を使用しています

2009.12（2版）